

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こばんはうすさくら 浜北東教室			
○保護者評価実施期間	令和8年1月5日		～	令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数)	16
○従業者評価実施期間	令和8年1月5日		～	令和8年1月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2026/2/9			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画や専門的支援計画作成に当たって、保護者からの丁寧な聞き取りや子ども自身のニーズをくみ取った計画を作成している。	更新前には必ず面談を行うこと、そして子どもからも聞き取りを行うことで、具体的な計画の作成を心掛けている。また、自発管や専門的支援支援員が計画は作成するが、職員間で子どもの様子等を共有することで、様々な視点での見立てられるようにしている。	現在も行っている取り組みを継続しつつ、保護者や子どもから率直な思いが引き出せるような関係作りに努めていく。また、それらの取り組みについて職員にも丁寧に伝えていく。
2	防災訓練について、計画的に実施されていることが保護者にも周知されている。	防災訓練は避難訓練を中心に震災・水害等を想定し計画的に実施している。保護者との連携のため、公式SNSを活用し連絡を取る工程を加えることで保護者の方にも参加していただいている。	災害は突然起こるため、現状は職員で防災訓練の内容を工夫して行っているが、さらにバリエーションを増やしながら様々な訓練を実施していきたい。
3	日々の活動プログラムが固定化されないように、職員でミーティング等を行いいろいろな活動を実施することができている。	心理師や作業療法士といった専門職や保育士が、それぞれの背景を活かした活動を実施している。また、子どもたちからの遊びのリクエストも受け付けたりと、様々な活動ができるように日々模索している。	ミーティングを今後も行いつつ、インターネット等からの情報収集や他事業所との横のつながりを大事にし、新しいプログラムを提供できるように努めていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者向けNo11「放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。」の設問に対し、【いいえ】が6票、「わからない」が7票、それぞれあった。	以前は児童クラブ様主催の演劇鑑賞会にご招待いただいたが、会場の改修工事以降、現在はそのような交流も途絶えている。発達特性上、初対面の方の交流の難しさもあり、なかなか地域のお子様との交流につながらない。	子どもたちの特性に留意しつつ、職員が仲介することのできる取り組みがないか、模索していくことが必要。また、子ども同士の交流が難しくても、地域の駄菓子屋さんやご飯屋さんで交流を深めていきたい。
2	保護者向けNo18「父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。」の設問に対し、【いいえ】が3票、「わからない」が6票、それぞれあった。	働いていらっしゃる保護者の方も多く、父母会等の時間を設定することが難しい。	毎年外部講師の方を招き、保護者対象に講演会を行っている。それ以外にも、子どもと一緒に保護者の方にも参加いただけるイベント等を検討していきたい。
3	従業員向けNo9「第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。」の設問に対し【いいえ】が4票あった。	評価を求める第三者機関が明確ではないため、どのようなところに評価を求めたらいいかが不明といになっている。	明確な第三者による評価はないものの、相談支援事業所や各連携機関との関りが常にあるため、まずはそういった各機関からの評価を参考に、今後さらなる第三者機関を検討していきたい。